

# 公益社団法人滋賀県社会福祉士会

## 2017年度 事業報告

### 1 総括

滋賀県社会福祉士会は設立後25年を超え、26年目に入っております。また、日本社会福祉士会の連合体組織（社会福祉士個人の会員組織から47都道府県社会福祉士会の会員組織）への移行に伴い、各県士会に、権限の移譲や主体の形成が行われて6年が経過し、それに伴い、滋賀県社会福祉士会が公益社団法人に移行し5年が経過しました。

こうした流れは、分権型社会への対応の観点からも必然的なものではありませんが、パラダイム転換には大きなエネルギーを必要とします。今後も、会員の名簿管理が都道府県に下されてくるなど、まだまだ道半ばといったところです。

本会の会務内容を以前と比較してみましても、所掌事項は、量的・質的に増加・高度化し、会務環境は大きく様変わりしました。主なものとしましては、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実施、成年後見関係事件の受任案件の増加と「直接（申出）受任」検討や、ばあとなあ滋賀事務手数料徴収など運営体制の見直し、公的機関等からの委託事業等への取組み、多職種・多機関とのネットワーク化、事務所移転と事務局体制強化などがあげられます。その分、本会の社会的認知度や期待が大幅に高まってきたと言えるでしょう。

今年度は、「第2期将来構想5か年計画（中期経営戦略6本柱）」の中間年として、ソーシャルワーク実践に寄与できる座標軸を身につけながら、諸課題の解決に向けて取り組んできました。今後ますます、社会の期待に応えるためには更なる発展に向けてのチャレンジや適切なマネジメントが必要です。

さて、以下のとおり、2017年4月1日から2018年3月31日までの本会のこの1年間の運営ならびに事業の実施状況を総括し報告します。

先ず事務局体制ですが、常勤の事務局長の確保を果たし、日本社会福祉士会をはじめ関連機関との連携等、大変スムーズになりました。諸規定の整備はまだまだ十分ではありませんが、随時進めております。

次に、事業面ですが主なところは以下の通りです。

#### ○ばあとなあ滋賀による成年後見活動の推進

認知症高齢者等の大幅な増加、成年後見制度の普及等とともに、成年後見人の需要は近年ますます高まってきています。2017年、県内における成年後見関係事件（後見開始、保佐開始、補助開始及び任意後見監督人選任事件）の申立件数（大津）は492件と全国水準（35,737件）よりも高く、第三者後見人の選択も増加傾向にあります。特に専門職後見人の中でも社会福祉士の伸び率が高く、前年比10.4%の増となっています。

こうしたニーズに応えるべく、ばあとなあ滋賀運営体制の見直し検討を進めてまいりました。1つは事務量の増加や後見人の質の担保のための研修などに対応するための手数料の徴収についてです。2018年3月の臨時総会にて採択され、2018年度より開始することとなりました。もう1つは「直接（申出）受任」についてです。虐待案件など、成年後見制度の早急な活用が必要な場合や、他に適切な受任候補者がいない場合に限り、申立段階から第三者受任候補者名を挙げて対応するやり方です。昨年度に引き続き今年度も検討を重ねてまいりました。

ばあとなあ滋賀会員数、受任件数は以下の通りです。

| 区分        | ばあとなあ会員数 | 受任件数 |
|-----------|----------|------|
| 2016年2月報告 | 78名      | 258件 |
| 2017年2月報告 | 141名     | 306件 |
| 2018年2月報告 | 134名     | 389件 |
| 前年比       | 7名減      | 83件増 |

#### ○無戸籍者支援への取り組み

無戸籍者を支援するため、2016年10月7日から、滋賀県は都道府県で初めてとなる専用相談窓口を本会に設置しました。これまで案件ごとに縦割りだった無戸籍者からの相談を一括して受け入れることで、きめ細かい対応を行うものです。

市町との連携のもと、専用の電話番号を設け、毎金曜日に、無戸籍者の生活に関する様々な相談に応じる体制を整えています。相談件数は多くはありませんが、よりの確にニーズを把握するため、保健所へのヒアリングなど行いました。また研修会を通じ、就籍後の支援の大切さを学びました。

#### ○滋賀県との共催、養介護施設従事者等による高齢者虐待対応現任者標準研修の実施

地域包括支援センターで高齢者虐待対応を担当する初任者職員および市町職員を対象に、「養介護施設従事者等による高齢者虐待」に対する対応の標準化を目指して、昨年同様、6月下旬～7月上旬にかけての3日間の研修を滋賀県との共催、高齢者・障害者虐待対応支援ネットの専門職チーム等の講師編成により実施しました。高齢者虐待防止法に基づき、要介護施設従事者等による高齢者虐待対応の理解から初動期、対応期、評価期における手順について、帳票を用いて学習し、演習事例を通じ実践的に学びました。

#### ○この他、県委託事業としては今年度限りとなりましたが、「地域包括支援センターの機能強化に向けた支援事業」や、来年度も継続予定の「子ども家庭福祉に関わる社会福祉士の連携を継続できる基盤づくり事業」を実施してまいりました。

#### ○収益事業「社会福祉事業のサービス評価」

2005年度から認知症高齢者グループホームの外部評価機関として滋賀県の認証を受け調査・公表を実施してきました。2017年12月に滋賀県第三者評価機関の認証を取得しましたので、今後、本事業を一層拡大・充実することになります。

次に、会計面では、会費収入が主財源ですので厳しさは変わりませんが、滋賀県や県社協からの委託事業等による特定財源の確保が会務の充実・推進につなげることができました。

また、会費収入に関連して、会員数はここ数年増加傾向にあり、500名を超えるところまで増えてきました。

最後に昨年6月、役員改選により新体制となりました。不慣れな中での運営でしたが、会員の皆様のご協力を得て何とか無事、2年目を迎えられます。今後とも一層、会員の皆様に親しまれ、一人ひとりの会員の拠り所となれるよう、各種事業やブロック活動の推進、広報紙”は一と・めーる”の発行等を通じて会員相互の顔の見える関係づくりを一層進めるとともに、新規入会者も積極的に募り、楽しく会員が一丸となれるよう頑張りたいと思います。

そして公益社団法人、職能団体として、県民の皆様からの信頼に応えられるような本会活動に向けて役員一同頑張ってまいりますので、会員の皆様の一層のご参画と、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

# 1 事業報告

## 【公益事業】

### 1. 社会福祉の援助を必要とする滋賀県民への生活と権利擁護に関する事業

#### (1) 成年後見制度の普及活動と後見受任者の質の向上への取り組み

県下の権利擁護ニーズに応えるため、また、会員の権利擁護対応の質の担保及び向上のため、下記の内容にて「権利擁護センターぱあとなあ滋賀」（以下「ぱあとなあ滋賀」という）の活動の充実・強化を図りました。その他、日本社会福祉士会が実施した都道府県ぱあとなあ連絡協議会に2名を派遣し、各都道府県のぱあとなあの情報換、全国的な後見実務の情報交換を行いました。

#### ①ぱあとなあ滋賀（部会活動）の充実・強化

##### ア. 後見活動の実施

2017年度下半期時点（2月報告時点）でぱあとなあ滋賀会員134名、後見253件、保佐99件、補助32件、任意後見5件、監督0件、あわせて389件を受任（昨年度同時点で306件）。

後見人が一人で全責任を負うこととなる後見活動の内容をぱあとなあ活動報告書チェックにてチェックするとともに、下記定例会において後見実務の質問や情報交換を行うことができる場を確保し、必要に応じ質問、情報交換を行っています。

昨年度、養成研修を実施した関係で、ぱあとなあ滋賀会員数が大幅に増加したことから、地区毎に顔合わせの機会を設け、少しでも顔の見える関係を構築し、定例会への参加呼びかけや、会員間の情報交換、支援の体制が取れるよう努めました。

##### イ. 定例会の開催 毎月第2土曜日に実施

定例会においては、(あ) 受任推薦についての透明性の確保…家庭裁判所からの推薦案件についての情報共有、受任者の公募、(い) ぱあとなあ滋賀会員のフォロー…後見実務の質問や情報交換、(う) 実務的な内容の研修による会員の後見活動の質の向上を主な内容としている。今年度においては、下記のとおりの内容にて毎月概ね1時間程度の研修を実施しました。

- 4月 これから後見業務を行う皆様へ就任直後の実務について2（小川委員長）
- 5月 成年後見人等の本人死亡時後の財産引継ぎについて（小川委員長）
- 7月 2017年度都道府県ぱあとなあ連絡協議会報告会（中尾会員・横田会員）
- 8月 被後見人家族との関係性について（村田委員長）
- 9月 意思決定支援に配慮した成年後見活動のためのツール伝達研修（澤相談役）
- 10月 事例検討会（湖東北ブロック西川会員）
- 11月 事例検討会（湖西ブロック川口会員）
- 12月 事例検討会（湖南ブロック中尾会員）
- 2月 事例検討会（東近江ブロック小寺会員）
- 3月 事例検討会（甲賀ブロック望月会員）

##### ウ. 運営委員会の開催と体制整備

地区担当者及びぱあとなあ担当理事が運営委員となり、毎月定例会前に運営委員会を開催。運営委員会では、ぱあとなあ滋賀の組織運営に関わる決定事項を検討しました。また、ぱあとなあ会員の後見活動に関し、福祉関係機関その他の機関からの苦情等がある場合等にその対応について協議を行いました。さらに、そのようなぱあとなあ会員の後見活動について、必要な場合は運営委員複数で当該会員の面談を実施し、課題の洗い出し、意見聴取、対応協議等を組織的対応の中で実施しました。各種規約の策定については、理事会で承認を得ました。また事務手数料徴収については臨時総会で可決承認され、2018年度より運用を開始いたします。

運営委員長(担当理事)村田才司

<地区担当運営委員>

湖東北地区 澤和子、山内克仁  
湖南地区 小笠原美幸、西川妙子、中尾葉子  
湖西地区 町野ひろ子、吉原正栄  
東近江地区 中嶋久仁子、石山久子  
甲賀地区 木下道生、木村真由子

エ. 関係機関との連携、何でも相談会への相談員派遣

家庭裁判所との連携を密にし、他機関や県民からの成年後見制度に関する相談や依頼に対応するための体制を整備しました。

また、県内福祉圏域のほぼ全てで、高齢者や障害者を対象とし、様々な士業や専門職が集まり相談に応じる総合相談が実施されるようになったことで、社会福祉士にも福祉や成年後見、権利擁護に関する専門職として相談員派遣要請がなされています。地域のニーズに応えること及び相談対応をおこなった会員の質の向上並びに他専門職とのネットワークの構築を目的として、定例会にて人員を広く募り、積極的に会員派遣を行いました。

②県民のための成年後見制度活用セミナーの開催

2018年3月18日、彦根勤労福祉会館大ホールにて上記セミナーを実施しました。企画運営については、湖東・湖北圏域のぽあとなあ滋賀会員が中心となり行いました。

今回は「自分の思いを伝えたい・・・しょうがいを持つ人の意思決定支援とは」をテーマに、大平真太郎氏(厚生労働省 社会・援護局 障害福祉部障害福祉課 地域生活支援推進室 相談支援専門官)より講演をいただき、60名の参加者がありました。

(2) 高齢者・障害者虐待対応支援ネットによる専門職チームの活動

①専門職チームの概要

2009年より滋賀弁護士会とともに「滋賀県高齢者虐待対応支援ネット」を設置し、地域包括支援センターでの困難事例への相談対応や、虐待対応ケース会議での相談対応など高齢者に対する権利擁護事業に対して支援を行ってきました。

2012年10月施行された障害者虐待防止法に対応するため、「滋賀県高齢者・障害者虐待対応支援ネット」として改め、専門職チームとしての専門性の研鑽をはじめ、県や市町に対して支援ネットを活用した権利擁護体制整備の必要性の広報、研修会等へのアドバイザーの派遣など、支援体制の強化等に取り組んでいます。

②活動実績

2か月に1回、専門職チームに所属している弁護士及び社会福祉士が、専門職チーム運営上の課題について協議等を行っています。今期は5月10日、7月5日、9月6日、11月1日、1月10日、3月14日に実施しました。

今後、行政は勿論、県民や各種団体・機関においても、権利擁護に関する体制強化や意識高揚のニーズが一層高まることが予測されます。このことから、権利擁護に関する情報の収集・発信、未契約市町への広報活動の強化、専門職チームとしての体制強化と資質の向上に努める必要があります。

<契約先市町の状況>

2017年度契約市町(10市2町)

- ・高齢者・障害者の契約市町  
高島市、愛荘町、守山市、栗東市、湖南市 草津市、甲良町、甲賀市、近江八幡市  
野洲市、米原市
- ・高齢者のみ 長浜市

<ケース会議等への派遣回数>

- ・長浜市4回、米原市3回、高島市16回、愛荘町2回、近江八幡市9回、野洲市6回、  
守山市3回、栗東市0回、湖南市6回、草津市19回、甲賀市2回、甲良町0回

### (3) 地域包括支援センターの機能強化に向けた支援

#### ①養介護施設従事者等による高齢者虐待対応現任者標準研修

2017年6月21日、6月27日、7月6日の3日間にわたり、市町・地域包括支援センターの現任者、他の虐待対応協力者・関係機関職員、高齢者虐待対応専門チームと登録者等向けに開催しました。

場所：1日目・・コラボしが21 3階中会議室1

2日目、3日目・・コラボしが21 3階中会議室2

高齢者虐待防止法の基づき、養介護施設従事者等による高齢者虐待対応の理解から初動期、対応期、評価期における手順を帳票を用いて学習、演習事例を実践で学びました。

受講者：17名

講師：宮原弁護士、中川会長、中原会員、村田理事

#### ②滋賀県地域包括支援センター機能強化支援事業

ア 滋賀県地域包括支援センター連絡会議

開催日時：2017年6月27日（火）14:00～16:45

場所：滋賀県庁東館7階大会議室

受講者：66人

目的：

改正介護保険制度により地域包括ケアの中核となる地域包括支援センターは、これまでの高齢者総合相談に加え、在宅医療・介護連携、認知症対策、地域ケア会議の開催、生活支援・介護予防への取組等、より一層機能強化が求められています。このため、滋賀県内全市町の地域包括支援センターが集まり、現状や課題を把握すると共に、意見交換を図り課題解決や実践に資することを目的とします。

プログラム：

1. 基調講演・「地域共生社会実現に向けて、地域包括支援センターに期待すること」

講師・永田祐先生

2. 平成28年度地域ケア会議実施状況調査の結果について（情報提供）

3. グループワーク

イ 地域包括支援センター機能強化検討会

- ・第1回開催 日時：2017年5月16日（火）13:30～15:30

開催場所：フェリエ南草津和室C

- ・第2回開催 日時：2017年7月31日 10:30～12:00

開催場所：県立長寿社会福祉センター第一教室

ウ 地域包括支援センター「アドバイザー派遣研修」

第1回

##### ①南部会場研修

実施日：2017年12月14日（木）

会場：草津市立市民交流プラザ（フェリエ南草津）5階大会議室

##### ②北部会場研修

実施日：2017年12月21日（木）

会場：彦根勤労福祉会館たちばな4階大ホール

講師：辻本哲士 先生

テーマ：「地域包括支援センターにおける支援困難事例（精神障害・発達障害・アルコール依存・ひきこもり等の課題を持つ本人または家族がいる事例）への関わり方と関係機関等との連携について」

第2回

##### ①南部会場研修

実施日：2018年3月8日（木）13:30～16:30

会場：コミュニティセンターやす研修室1・2

##### ②北部会場研修

実施日：2018年3月8日（木）9:30～12:30

会場：彦根勤労福祉会館たちばな4階大ホール  
講師：高室 成幸 先生  
テーマ：「地域包括支援センター職員が元気になれる研修会（センター職員のモチベーションアップのための研修会）」

#### （4）子ども家庭福祉に関わる社会福祉士の連携を継続できる基盤づくり

子どもの権利擁護と地域における子ども家庭支援を担う社会福祉士としての力量を高めるために、会員相互のネットワークを構築し、情報交換、相互支援、研鑽等を行なうとともに、子ども家庭福祉の推進に向けた活動を行ないました。

##### ①子ども家庭支援委員会コア会議

- 2017年4月28日（金）委員会運営打ち合わせ（コミュニティセンターやす）  
2017年度の活動について確認
- 2017年9月15日（金）委員会運営打ち合わせ  
・次回研修について→2017年12月10日（日）第2回研修を行ないました。  
・スクールソーシャルワークに関する調査研究について  
・未成年後見についての勉強会開催について協議

##### ②子ども家庭福祉・スクールソーシャルワーク研究会の開催

- 第1回子ども家庭支援研修会  
開催日：2017年5月27日（土）  
会場：栗東ウィングプラザ4階研修室  
内容：第1部 研修 『小児保健医療センターの役割とソーシャルワーク』  
講師 林 恭子さん（滋賀県小児保健医療センターMSW）  
第2部 実践交流 同じ児童領域で働く社会福祉士がそれぞれの立場で交流を深めました。  
第3部 懇親会
- 第2回子ども家庭支援研修会  
開催日：2017年12月10日（日）  
会場：守山駅前コミュニティホール第1ホール  
内容：『～楽しく学ぼう要対協～正しく知ってほしい要保護児童対策地域協議会』  
Ⅰ. 要対協について基本のお話  
Ⅱ. 虐待？と感じた時からの動き（チーム要対協による寸劇）  
Ⅲ. 質疑応答
- 第3回子ども家庭支援研修会（権利擁護委員会と合同開催）  
開催日：2018年3月4日（日）  
会場：明日都浜大津4階視聴覚室  
内容：『未成年後見についての勉強会』  
Ⅰ. 未成年後見制度について（特に児童福祉、司法福祉の立場から）  
Ⅱ. 未成年後見の実例  
Ⅲ. 質疑応答と交流

#### （5）無戸籍の人への相談窓口設置の実施

##### ①電話相談窓口の開設

毎週金曜日に滋賀県長寿社会福祉センター内で相談窓口を設置し、無戸籍者の抱える生活上の深刻な課題解決を図りました。

開設日：延べ48日（10時～15時）

電話相談：9件（延べ相談対応18件）

##### ②連絡協議会開催（大津地方法務局、滋賀弁護士会、滋賀医師会等関係団体・機関）

2017年7月12日（水）15：00～17：00（県庁北新館多目的室3）

##### ③県内市町保健センターへの啓発及び聞き取り調査を実施

無戸籍に関するアンケート調査を各保健センターに出向き実施。

啓発物（チラシ）を作成、配布依頼。

##### ④市町担当者、保健師等関係機関に対する研修会実施

日時：2018年2月13日（火）

会場：草津市立市民交流プラザ（フェリエ南草津）5階中会議室

講演：「地域で育つということ」

講師：大谷 純 氏

⑤その他 検討会開催4回、啓発物（チラシ）の印刷（各市町保健担当主幹課へ配布）

## 2. 社会福祉の知識の普及・啓発・調査研究、社会福祉士の職務に関する知識・技術の向上、倫理及び資質の向上、養成支援等

### （1）社会福祉および社会福祉士に関する調査研究

#### ア 制度政策委員会

滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会（事務局：県社協）に委員として中川会長が参画し、滋賀県に対する社会福祉施策・制度に関する要望を行いました。

なお、当初計画していた学習会や課題検討には未着手。

#### ①滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会への参画

[第1回]

開催日：2017年7月3日（月）

会 場：県立長寿社会福祉センター

[第2回]

開催日：2017年8月30日（水）

会 場：滋賀県赤十字血液センター会議室

#### ②滋賀県健康医療福祉部長への要望

開催日：2017年10月17日（火）

会 場：県庁北新館3階会議室

#### ③県議会各会派への要望

[自由民主党]

開催日：2017年11月16日（木）

会 場：県庁2階 議員室

[チームしが]

開催日：2017年11月17日（金）

会 場：県庁2階 委員会室

<要望事項>

成年後見制度利用促進基本計画に基づく取り組みの着実な推進について

### （2）社会福祉士の養成支援

#### ア 社会福祉士養成支援委員会

社会福祉士の養成のため、専門性を身に付ける機会を提供。

#### ①全国統一模擬試験の実施

#### ②社会福祉士実習指導者講習会の運営

実習指導者講習会を開催。実習生受け入れのため、31名の実習指導者が新たに登録されました。

日程 : 2017年9月23日（土） 8:45～17:00

9月30日（日） 8:45～17:00

会場 : 滋賀県立長寿社会福祉センター2階 第3・第4研修室

受講者 : 31名

#### ③社会福祉士国家試験対策講座の実施

国家試験対策講座（19科目）を7月29日～11月11日にかけて開催。14名の受講生に社会福祉士国家試験の受験をサポートしました。

| 日程    | 曜日 | 教室                      | I<br>10:00~11:00                  | II<br>11:10~12:10                 | III<br>13:10~14:10                 | IV<br>14:20~15:20                  | V<br>15:30~16:30 |  |
|-------|----|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------|--|
| 7/29  | 土  | 長寿C<br>第1教室             | 低所得者に対する<br>支援と生活保護制度<br>大岡 紳浩    | 低所得者に対する<br>支援と生活保護制度<br>大岡 紳浩    | 現代社会と福祉<br><br>口 村 淳               | 現代社会と福祉<br><br>口 村 淳               |                  |  |
| 8/12  | 土  | 長寿C<br>第1研<br>修室        |                                   | 社会理論と<br>社会システム<br>安澤 郁子          | 福祉サービスの<br>組織と経営<br>澤 和 清          | 福祉行財政と<br>福祉計画<br>澤 和 清            | 社会調査の基礎<br>澤 和 清 |  |
| 8/19  | 土  | コミセ<br>ンやす<br>第2研<br>修室 | 社会保<br>障<br>市 川 忠 稔               | 社会保<br>障<br>市 川 忠 稔               | 相談援助の<br>理論と方法<br>安 田 誠 人          | 相談援助の<br>理論と方法<br>安 田 誠 人          |                  |  |
| 9/2   | 土  | 長寿C<br>第1教<br>室         | 障害者に対する支援と<br>障害者自立支援制度<br>山田 宗 寛 | 障害者に対する支援と<br>障害者自立支援制度<br>山田 宗 寛 | 就労支援サービス                           | 保健医療サービス<br>市川 忠 稔                 |                  |  |
| 9/9   | 土  | 長寿C<br>第1<br>教室         | 相談援助の基盤と<br>専門職<br>岡本 芳也          | 相談援助の基盤と<br>専門職<br>岡本 芳也          | 児童や家庭に対する支援<br>と児童・家庭福祉制度<br>岡本 芳也 | 児童や家庭に対する支援<br>と児童・家庭福祉制度<br>岡本 芳也 |                  |  |
| 9/30  | 土  | 長寿C<br>第2研<br>修室        | 高齢者に対する支援と介護保険制度<br>吉川 鐘 子        | 高齢者に対する支援と介護保険制度<br>吉川 鐘 子        | 人体の構造と<br>機能および疾病<br>平 良 久 美       | 人体の構造と<br>機能および疾病<br>平 良 久 美       |                  |  |
| 10/7  | 土  | 長寿C<br>第1<br>教室         | 全 国 統 一 模 擬 試 験                   |                                   |                                    |                                    |                  |  |
| 10/21 | 土  | 長寿C<br>第1<br>教室         | 地域福祉の<br>理論と方法<br>山内 克 仁          | 地域福祉の<br>理論と方法<br>山内 克 仁          | 心理学理論と<br>心理的支援<br>佐藤 順 子          | 心理学理論と<br>心理的支援<br>佐藤 順 子          |                  |  |
| 11/11 | 土  | 長寿C<br>第1<br>教室         |                                   |                                   | 権利擁護と<br>成年後見制度<br>中川 英 男          | 権利擁護と<br>成年後見制度<br>中川 英 男          | 更生保護制度<br>中川 英 男 |  |

#### ④社会福祉士養成支援委員会の開催

8月17日（木） 草津市民交流センター（フェリエ南草津）

11月27日（月） 大津市市民活動センター

#### (3) 介護・福祉なんでも電話相談事業

福祉・介護現場で働く従事者が不安や悩みを気軽に電話等で相談し、解決できるよう支援することにより、各事業所で働く職員の定着支援を図ることを目的として、「福祉・介護従事者のなんでも電話相談」を介護福祉士会と共同で次の通り実施しました。

1. 専用電話による相談を毎週火曜日（10時～16時）に実施した（月・水・木・金曜日は介護福祉士会）。  
相談件数 9件
2. 滋賀県社会福祉協議会介護福祉人材センター/福祉研修センター主催の『福祉・介護従事者（事業所）のための「出前講座」』に講師を派遣しました。



| 事業所名             | テーマ                    | 参加人数 | 実施日       | 時間          |
|------------------|------------------------|------|-----------|-------------|
| 救護施設ひのたに園        | 接遇基礎研修                 | 14名  | 6月15日(木)  | 14:00～15:30 |
| 愛荘町社会福祉協議会       | 記録の書き方・アセスメントの着眼点      | 35名  | 9月8日(金)   | 18:00～19:30 |
| ふれあいワーカーズ        | 保護者からのクレーム対応           | 2名   | 9月7日(木)   | 13:30～15:00 |
| 湖北会ゆるり           | 働きやすい職場環境づくりについて考える    | 19名  | 10月13日(金) | 17:30～19:00 |
| 多賀清流の里           | 働きやすい職場環境づくりについて考える    | 20名  | 11月27日(月) | 13:00～15:30 |
| ニチイケアセンター大藪      | 身体拘束・人権と虐待             | 10名  | 10月18日(水) | 10:00～11:30 |
| 永山会 しがそせい苑       | 身体拘束ゼロ・虐待防止に向けた具体的対応   | 50名  | 9月26日(火)  | 18:00～19:00 |
| (株)関西サンガ         | クレーム対応に学ぶリスクマネジメント     | 30名  | 10月28日(土) | 14:00～16:00 |
| 訪問看護ステーションひの     | 権利擁護・意思決定支援を考える        | 7名   | 11月2日(木)  | 17:00～18:50 |
| 介護老人保健施設 寿々はうす   | 働きやすい職場環境づくりについて       | 31名  | 10月17日(火) | 17:30～19:00 |
| 犬上ハートフルセンター      | 身体拘束・虐待・不適切なケア・尊厳・認知症  | 50名  | 10月30日(月) | 18:45～20:15 |
| 養護老人ホーム金亀荘       | 高齢者の権利擁護の視点と意思決定支援について | 30名  | 12月5日(火)  | 18:00～19:30 |
| びわこ学園 医療福祉センター野洲 | 障害者虐待防止                | 30名  | 10月27日(金) | 10:00～11:30 |

#### (4)「滋賀の縁創造実践センター」とのコラボレーションの推進

2014年9月に、民間福祉関係者が分野や立場を超えてつながり、福祉制度のはざままで支援が届きにくい人々の声を聴き、地域の方々とともに、社会とつながっていない人々の縁を紡ぎなおし、誰もが自分らしくいきいきと地域で暮らすことを支えるしくみと実践を県下にくまなくつくっていくことを目指し、「滋賀の縁創造実践センター」が開設されました。

本会は、「滋賀の縁創造実践センター」の理事として参画するとともに、専門職団体として積極的にコラボレーションを推進しました。

##### ①滋賀の縁創造実践センター「課題解決のためのネットワークづくり・『事例検討』多職種サロン」の協働推進

縁創造実践センターの「課題解決のためのネットワークづくり・『事例検討』多職種サロン」の一環として、少人数で事例検討や意見交換することで更なる連携の強化を推進しました。

##### 【業務内容】

- ①ミニ講座開催のための連絡調整
- ②資料の準備
- ③講座での講師調整
- ④滋賀の縁塾の企画運営支援

⑤その他、「課題解決のためのネットワークづくり」推進に必要な業務

## ②傍楽体験事業の実施

「コミュニケーションが苦手」「働くことに不安がある」など働きたいけれど不安を感じておられる方々が、はじめの一步を踏み出せるきっかけにつなげていくことを目的に、4月よりモデル事業「傍楽体験事業」を実施。

毎月第2木曜日発行の事務局通信の封入・発送作業を通じて、誰もが個性を輝かせることができる「小さな働く場」となるよう今後も継続して取り組みます。

・12回開催（延べ参加人数57名）

## 【収益事業】

### 1. 社会福祉事業のサービス評価

#### (1) 認知症高齢者グループホームの外部評価の実施について（第三者評価委員会の活動の充実・強化）

本会は、2005年度から認知症高齢者グループホームの外部評価機関として滋賀県の認証を受けて調査・公表を実施してきました。2007年度からは、「地域密着型サービス」の外部評価機関として活動しています。2009年度からは、外部評価の実施回数や自己評価項目・外部評価項目等の見直しが行われ、地域密着型サービスが「介護サービス情報の公表」制度の適用対象となり、本会も必要な対応を行いました。

直近では、2012年度の診療報酬・介護報酬の同時改定により地域密着型サービスの事業所要件や報酬が見直しされたこと等があり、本会としても高所大所から再考し、調査費用の見直しや調査員の拡大などに取り組み、第三者評価事業への貢献度を一段と高めることとしました。本会が行う外部評価は、「福祉の専門職」である本会会員と、「利用者」「家族」の立場である公益社団法人認知症の人と家族の会滋賀県支部会員が連携して調査員となり利用者の方、ご家族の安心と満足、心地よさ、快適さの向上を図るため、更によりよいサービスを提供するにはどうしたらよいか、各事業者の関係者と一緒に考えることを大切にしています。

#### ①認知症高齢者グループホームの外部評価ならびに公表

2017年度は10件の外部評価調査依頼がありました。

- (1)GH和楽 2017年7月12日調査
- (2)GH笑楽 2017年7月18日調査
- (3)GHはるか 2017年7月26日調査
- (4)しみんふくしの家八日市 2017年8月10日調査
- (5)GH落日荘 2018年2月13日
- (6)GHせせらぎ苑 2018年2月27日調査
- (7)GH美咲の家 2018年3月6日調査
- (8)GH檀那木 2018年3月14日調査
- (9)GHまごころ・土山 2018年3月29日調査
- (10)GHやすの憩 2018年3月29日調査

#### ② 第三者評価機関・調査員の資質の向上に向けた取り組み

- ☆ 第三者評価委員会の開催 年6回（奇数月の第3土曜日）
- ☆ 第三者評価委員会において情報交換及び研修の実施

#### ③ 地域密着型サービス事業所へのPR活動の取り組み

- ☆ 新規事業所に対する活動  
県からの指定情報の提供を受けて、直ぐにPRチラシを郵送。
- ☆ 新規に受託した事業所に対するPR活動  
初めて受託した事業所に対しては、事前に事業所を訪問し説明会を行っています。

○第三者評価委員会の開催と評価件数の推移

| 年度   | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 開催回数 | 4回   | 0回   | 6回   | 6回   | 6回   | 6回   | 6回   | 6回   |
| 件数   | 13件  | 7件   | 9件   | 11件  | 12件  | 12件  | 5件   | 10件  |

## 【その他の事業】（相互扶助等事業）

### 1. 社会福祉士の知識・技術および倫理・資質の向上

#### （1）生涯研修センター運営委員会

社会福祉士は専門職として、政策・制度や福祉ニーズの変化に対応し、また質的にも利用者からの信頼に耐え得るソーシャルワーカーを目指して、常に自らの専門性を向上させていく必要があります。そのため、日本社会福祉士会では1999年度より生涯研修制度を開始し、2012年度より滋賀県社会福祉士会が所属する会員の社会福祉士の職務に関する知識及び技術の向上、倫理及び資質の向上のために、生涯にわたって研鑽を重ねることを支援するために、生涯研修の情報や機会を提供することとなりました。

生涯研修制度は基礎課程、専門課程の2つの課程からなり、基礎課程は滋賀県社会福祉士会に新しく入会した社会福祉士が必ず受講する課程となっており、本年度は基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲを実施しました。研修実施のため、運営委員会を開催し、円滑に研修を実施できるよう調整を行いました。なお、基礎研修講師および、ファシリテーターとして36名（年間延べ講師36名、ファシリテーター45名）が研修に関わりました。

なお、滋賀県として会4項目を基本的な考え方として研修を行うこととしました。

- 1 滋賀県社会福祉士会会員自身が互いに育てあう関係での研修を実施する
- 2 社会福祉のプロとして自身の振り返りの場としての研修へ参加する
- 3 社会福祉のプロとして自身の業務の発信の場（講師となって自らの業務を発信する）とする
- 4 様々な部門の者が集い、連携構築を図る場とする

#### ○生涯研修センター運営委員会（集合研修講師・研修委員会・事務局会議）の開催

- 4月8日（土）コミュニティセンターやす
- 4月21日（土）まちの相談室よりそい
- 10月19日（木）まちの相談室よりそい
- 11月18日（土）守山商工会議所
- 2月25日（日）まちの相談室よりそい

#### （2）会員研修の実施

##### ①新規入会者及び認定社会福祉士を目指す社会福祉士に対する基礎研修Ⅰの実施

受講者数 33名

集合研修1：日時 10月7日（土）

場所 草津市立まちづくりセンター

内容 社会福祉士の歩み・組織、生涯研修制度、社会福祉士の専門性

集合研修2：日時 1月20日（土）

場所 男女共同参画センター

内容 社会福祉士の専門性の理解、倫理綱領・行動規範、倫理綱領の現場適用

②基礎研修Ⅱの実施 受講者数 10名

| 開催日            | 時間         | 科目   |
|----------------|------------|--|
| 2017年5月27日(土)  | 9:30~13:00 | ・相談援助の視座と展開過程(オリエンテーションを含む)<br>講師:高田 佐介                          |
| 2017年6月24日(土)  | 9:30~16:50 | ・実践のためのアプローチ 講師:上村 文子<br>・自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク<br>講師:柴田 有加里     |
| 2017年7月22日(土)  | 9:30~16:50 | ・集合研修1「実践事例演習」<br>講師:村長 真理                                       |
| 2017年8月19日(土)  | 9:30~16:50 | ・社会資源の理解と社会資源開発<br>講師:中原 一隆<br>・連携システムのあり方とネットワークの構築<br>講師:望月 俊有 |
| 2017年9月16日(土)  | 9:30~16:50 | ・地域における福祉政策と福祉計画<br>講師:山内 克仁<br>・社会福祉調査の方法と実際<br>講師:杉本 重剛        |
| 2017年10月7日(土)  | 9:30~16:50 | ・スーパービジョンとは<br>・スーパービジョンのモデルセッションを見る<br>・スーパーバイジー体験<br>講師:桐高 とよみ |
| 2017年10月28日(土) | 9:30~16:50 | ・社会福祉における法Ⅰ<br>講師:市川 忠稔<br>・ソーシャルワークと権利擁護の視点<br>講師:竹村 直人         |
| 2017年11月18日(土) | 9:30~16:50 | ・社会福祉における法Ⅱ<br>講師:小川 学<br>・ソーシャルワークと権利擁護の視点<br>講師:小西 加津代         |
| 2017年12月16日(土) | 9:30~16:50 | ・実践研究の意義と方法<br>講師:乾 昌典<br>・実践研究のための記録<br>講師:大原 薫男                |
| 2018年1月20日(土)  | 9:30~16:50 | ・実践評価の方法<br>講師:上村 文子   |
| 2018年2月17日(土)  | 9:30~16:50 | ・実践研究発表の方法<br>講師:奥村 昭  |

③基礎研修Ⅲの実施 受講者数 7名

| 開催日           | 時間         | 科目   |
|---------------|------------|--|
| 2017年5月27日(土) | 9:30~16:50 | ・対人援助と事例研究<br>・事例研究の基本枠組み<br>講師:磯崎 圭一郎<br>・事例研究の方法としてのケースカンファレンス |

|                |            |  |
|----------------|------------|--|
|                |            | 講師：島田 一子   |
| 2017年6月24日(土)  | 9:30～16:50 | ・事例研究のための事例のまとめ方<br>講師：磯崎 圭一郎<br>・実践事例研修Ⅱ<br>講師：尾崎 史               |
| 2017年7月22日(土)  | 9:30～15:30 | ・模擬事例検討会<br>講師：尾崎 史  |
| 2017年8月19日(土)  | 9:30～16:50 | ・意思決定の支援<br>講師：桐高 とよみ  |
| 2017年9月16日(土)  | 9:30～16:20 | ・地域における福祉活動<br>講師：奥村 昭   |
| 2017年10月7日(土)  | 9:30～16:50 | ・社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営<br>福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント<br>講師：市川 忠稔 |
| 2017年10月28日(土) | 9:30～13:00 | ・リスクマネジメント、苦情解決システム<br>講師：高田 佐介                                    |
| 2017年11月18日(土) | 9:30～16:00 | ・事例研究（苦情・リスク・サービス評価）<br>講師：高田 佐介                                   |
| 2017年12月16日(土) | 9:30～16:50 | ・スーパービジョンのモデルセッション<br>講師：海部 久美                                     |
| 2018年1月20日(土)  | 9:30～16:50 | ・新人教育プログラム<br>講師：松井 邦夫   |
| 2018年2月17日(土)  | 9:30～16:50 | ・地域の課題解決に向けた具体策について<br>講師：高田 佐介                                    |

#### ④全国研修担当者会議への参加

9月23日～24日（東京） 2名参加

#### ⑤基礎研修講師養成研修への参加

12月2日（京都）5名参加

#### ⑥近畿ブロックとの調整

近畿ブロック研修委員会への参加

4月22日、8月5日、11月5日、2月4日

#### ⑦近畿ブロック大阪大会分科会発表査読会及び審査会への参加

○査読会

11月5日（日） 大阪社会福祉会館

出席者 口村淳会員、奥村昭理事

### (3) 高齢者生活支援委員会

高齢者問題における解決策を多様な援助者と話し合い、援助者のスキルアップを目指します。また必要な社会システムを整えるため、政策提言を実施します。

## 2. 社会福祉専門団体・行政・社会福祉士養成校協議会等との連携

### (1) ソーシャルワーカー団体の連携推進

①分野は違ってもソーシャルワーカーとしては価値・倫理は共通していることから、公益社団法人滋賀県社会福祉士会、滋賀県医療ソーシャルワーカー協会、滋賀県精神保健福祉士会三団体連絡会を開催し、ソーシャルワーカー団体の連携を図るとともに、ソーシャルワーカーとしてのスキルアップの機会を確保します。また研修を通じて各団体の活

動の啓発を図り、それぞれの研修会等行事に、それぞれの会員以外でも参加できるよう調整を行いました。

## ②三団体合同研修会の実施。

三団体との協働で、研修会を開催。「自己決定支援とは」をテーマに37名が研修を受けました。

日時：2017年10月15日 9:30～11:45

場所：草津市民交流プラザ5階小会議室2

内容：三団体実践報告交流会

「自己決定・意思決定支援とは？」～ソーシャルワーカーとしての原点に立ち返る～

講演 認定特定非営利活動法人あさがお 大津権利擁護サポートセンター  
センター長 中原一隆 氏

現場からの報告

|                      |        |
|----------------------|--------|
| 滋賀医科大学付属病院（患者支援センター） | 新居加菜 氏 |
| 大津市社会福祉協議会           | 奥村寛之 氏 |
| 大津働き・暮らし応援センターはっち    | 西川健一 氏 |

## (2)「ソーシャルワーカーデー2017inしが」の開催

[開催日] 2017年7月15日（土） 14:00～17:00

[会場] 滋賀県危機管理センター

[内容] ①講演 「熊本に学ぶ～震災時の対応について～」

講師 社会福祉法人錦光会

特別養護老人ホームいこいの里事務局長 西田剛 氏

②トークセッション

登壇者 特別養護老人ホームいこいの里事務局長 西田剛 氏

大津市社会福祉協議会 地域福祉課長 山口浩次 氏

(社会福祉士会)

長浜赤十字病院

滋賀県医療ソーシャルワーカー協会 池田周平 氏 (医療社会事業協会)

県精神保健福祉センター精神保健福祉士 池田健太郎 氏(精神保健福祉士会)

進行 滋賀県社会福祉士会 副会長

奥村昭氏

③滋賀県危機管理センターの見学

## (3) 行政・他団体・機関等との協力・連携

### ○介護職員人材育成・確保対策連絡協議会への参画

- ①2017年 4月19日 滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会コア会議
- ②2017年 5月23日 滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会コア会議
- ③2017年 6月12日 第1回滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会
- ④2017年 6月27日 滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会コア会議
- ⑤2017年 8月25日 滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会部会
- ⑥2017年 9月19日 第2回滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会
- ⑦2017年 9月20日 滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会コア会議
- ⑧2017年12月14日 滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会部会
- ⑨2018年 2月27日 滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会コア会議
- ⑩2018年 3月30日 第3回滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会

### ○しが介護の職場合同入職式実行委員会

- ①2017年 4月20日 平成29年度 しが介護の職場合同入職式実行委員会
- ①2017年 5月17日 平成29年度 しが介護の職場合同入職式

- ② 2017年 6月29日 平成29年度 しが介護の職場合同入職式実行委員会
- ③ 2018年 2月 6日 平成30年度 しが介護の職場合同入職式実行委員会
- ④ 2018年 3月 7日 平成30年度 しが介護の職場合同入職式実行委員会

#### ○災害時における福祉的支援検討会への参画

- ① 平成29年 9月12日 災害時における福祉的支援検討会 第3回ワーキンググループ
- ② 平成29年10月26日 災害時における福祉的支援検討会 第4回ワーキンググループ
- ③ 平成29年12月20日 災害時における福祉的支援検討会 第5回ワーキンググループ
- ④ 平成30年 1月22日 災害時要配慮者支援対策研修会 開催
- ⑤ 平成30年 3月22日 第2回災害時における福祉的支援検討会

### 3. 広報委員会の運営

「みんなで笑顔になる仕事」というキャッチフレーズをもとに以下の事業を行いました。

#### ① 広報紙（はと・めーる）の発行

会員への当会の活動報告と、幅広く県民に対する当会の活動の普及・啓発を行なうため、広報紙ははとめーるを発行・発送します。9月に9号を発行しました。

#### ② ホームページ・オフィシャルブログの管理運営

ホームページについては、会員をはじめ県民向けの当会からの情報提供や情報公開という視点で県民にとって関心の高い福祉情報を提供できるよう検討を重ねながら管理運営を行いました。研修や事業の通知・募集はバナー化して掲示していく事で周知を図ることができました。

滋賀県医療ソーシャルワーカー協会・滋賀県精神保健福祉士会との3団体と合同のポータルサイトを通して、各会にアクセスできるようにし、会員の活動や元気に働く福祉士の姿をクローズアップし、情報提供、理解・啓発を図るための活動を行いました。ブログ「滋賀県社会福祉士のひろば」については、研修事業・ブロック活動情報等を中心に迅速な当会の活動についての情報提供を行えるように役員・事務局・各委員会及びブロック担当者との連携を図りながらサイトの管理運営の充実を図りました

#### ③ 本会の紹介パンフレットの刷新や啓発グッズの作成

本会の紹介パンフレット・クリアファイルについては、滋賀県医療ソーシャルワーカー協会・滋賀県精神保健福祉士会3団体の事業やソーシャルワーカーデー、県民向け公開講座等研修の機会を通して会員、その他県民に幅広く配布しました。今後、当会の活動の普及啓発に資する実用的なグッズの検討を進めます。

#### ④ 広報委員会の開催・委員の活動

委員会の堤洋三理事・城貴志会員・松井邦夫理事が委員会を担当し、2018年度上期の発行に向けて各委員が各種活動を行う際に記事やレポートの呼びかけを行いながら適宜の委員会を行いました。

### 4. 災害対策支援委員会の運営

○ 2017年 5月25日 災害対策支援委員会開催

協議：ソーシャルワーカーデーの企画について 等

会場：まちの相談室 よりそい

### 5. 地域単位の組織化

活動の一層の活性化を図るため、ブロック代表を中心に自主的な研修や交流を進め、福祉圏域を単位とするブロック活動の推進を行いました。

### ○大津ブロック

- 4月15日(土) テーマ：成年後見活動事例検討会 ブロック内ぱあとなあ滋賀歓迎会  
(湖西ブロックと合同)  
場 所：大津市唐崎 『つじくら』
- 6月24日(土) テーマ：大津市障害者虐待防止センターの取り組み  
講 師：菅 浩一 氏  
場 所：大津市晴嵐公民館 1F 会議室
- 9月29日(金) テーマ：成年後見活動事例検討会  
場 所：浜大津明日都ふれあいプラザ小会議室

### ○湖南ブロック

- 7月27日(木) テーマ：子どもと貧困、虐待の相関性  
講 師：徳田 賢悟 氏  
場 所：草津市立サンサンホール
- 11月25日(土) テーマ：より多くの人を守るためにテクノロジーのことを真剣に考えてみた(ビーコンの実証実験へ参加)  
場 所：膳所公園

### ○甲賀ブロック

- 5月18日(木) テーマ：成年後見活動事例検討会と平成29年度活動計画  
場 所：甲賀市水口社会福祉センター2階会議室
- 7月20日(木) テーマ：福島で学び・感じ・考えたこれまでのことこれからのこと  
第25回日本社会福祉士会全国大会(福島大会)参加報告  
講 師：磯崎 圭一郎 氏  
場 所：甲賀市水口社会福祉センター2階会議室
- 9月21日(木) テーマ：甲賀・湖南ひきこもり支援「奏~かなで~」の取り組み  
講 師：北出 篤嗣 氏  
場 所：甲賀市水口社会福祉センター2階会議室
- 11月16日(木) テーマ：障がい福祉制度のしくみ  
~基幹相談支援センターの役割を中心に~  
講 師：永田 敦也 氏
- 12月21日(木) テーマ：成年後見活動事例報告会  
場 所：甲賀市水口社会福祉センター2階会議室
- 1月18日(木) テーマ：県社会福祉士会の動向について  
場 所：ちゃこうろ
- 3月15日(木) テーマ：社会福祉士制度のこれから  
場 所：甲賀市水口社会福祉センター2階会議室

### ○東近江ブロック

- 10月22日(日) テーマ：地域包括ケア実践研修会  
場 所：株式会社ジッセント・シップ リーズナブル・リハセきすい  
講 師：小原 日出美 氏・松永 裕太 氏

### ○湖西ブロック

- 1月6日(土) テーマ：成年後見活動事例検討会と新年会(大津ブロックと合同)  
会 場：大津市和邇 『ふじ』
- 2月24日(土) テーマ：高島市の子どもの貧困対策について  
会 場：高島市安曇川公民館 団体活動室



## ○湖東ブロック

1月24日（水）テーマ：施設（障害者施設・高齢者施設）などにおける虐待防止、  
権利擁護

場 所：彦根勤労福祉会館

講 師：滋賀県社会福祉士会 相談役 澤 和清 氏

## ○湖北ブロック

12月20日（水）テーマ：社会福祉士としての権利擁護 後見事業を学ぶ（予定）

場 所：介護・健康用品のクローバー

## 6. 基金の運営

これからも増大する滋賀県民の社会福祉に関するニーズに的確に応え、会の発展と将来に向けて、利便性の高い、情報管理等のセキュリティにも配慮した長期的活動の基盤機能を備えた社会福祉士会の事務所を確保する必要があるほか、成年後見活動において、困難事例についての組織的な対応により適切な後見活動が行えるような体制整備を検討する必要があることから、各会員が、会を通して受ける報酬、講師謝礼等からの寄付により設置している2つの基金の拡充に取り組みました。

### ①事務所整備基金

将来的な会員入退会管理や会費事務等に備えるとともに、新生涯研修制度や認定社会福祉士制度に対応する生涯研修センターの機能を持つなど事務管理、会議運営、研修体制すべてに対応するための機能を備えた事務所整備に取り組みため、資金準備の寄付金の募金活動を、本会20周年を契機として2012年度から開始し、目標額を400万円に設定し取り組んでいます。

基金残高 1,732,822 円（2018年3月31日現在）

### ②成年後見体制整備基金

ぱあとなあの活動における報酬が付与されない事例に対する会員活動費の補填や法人後見実施のために、各会員の判断による寄付により創設する基金。主に、ぱあとなあの活動報酬等を対象に各会員からの寄付申し出により積み立て。なお、遺贈による寄付金については委員会を設置し、活用について検討を重ねています。

基金残高 16,767,406 円（2018年3月31日現在）

## 7. 事務局の充実

公益社団法人移行に伴い、適正かつ透明な事務局運営を目指して取り組みを進めます。

### ①事務局通信の発行

定期発送に合わせ、毎月発行を行いました。

### ②公益社団法人に対応した事務処理体制の確立

滋賀県総務部総務課の指導も受けながら、公益法人の基準に則った運営に努めました。

### ③諸規定の改正と規程集の発行

必要な諸規定の改正は随時行いましたが、規程集の発行には至っていません。

## 8. 公益社団法人日本社会福祉士会との連携事項

### ①総会への参画

通常総会 6月17日（土） 鉄鋼会館

中川会長出席

## ②各種委員会活動への参画

- ア都道府県会長会議 9月2日(土)～3日(日)  
中川会長出席
- イ都道府県ぱあとなあ連絡協議会 5月13日(土)～14日(日)  
中尾会員、横田理事が出席
- ウ全国生涯研修委員研修会議 9月23日(土)～24日(日)  
磯崎会員、横田理事が出席

## ③中央研修等への会員派遣

- ア2017年度意思決定支援に配慮した成年後見活動のためのツール伝達研修  
8月4日～5日(東京) 澤相談役出席
- イ虐待対応専門職チーム経験交流会  
9月16日(東京) 澤相談役パネリストとして参加
- ウ2017年度スーパービジョン研修 玉置会員、佐々木会員
- エ現場のための障害者虐待防止研修 11月18日～19日(東京) 町野会員
- オ2017年度自殺予防ソーシャルワーク研修 1月13日～14日(大阪) 大原会員

## 9. 総会・理事会・理事連絡会議の開催

### (1) 総会の開催

#### ①6月10日(土)

- 出席者：295名(出席65名・委任状34名・書面表決者196名)
- 報告事項 2016年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業報告について
- 第1号議案 2016年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会決算の承認について
- 第2号議決 役員を選任について
- 連絡事項 年間事業計画について
- 研修会「障害福祉の課題」～高齢化への対応～ 講師 本会会員 中川 英男 氏

#### ②3月18日(日)

- 出席者：307名(出席44名・委任状32名・書面表決者231名)
- 第1号議案 2016年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会修正決算の承認について
- 第2号議案 権利擁護センターぱあとなあ滋賀事務手数料の徴収について
- 報告事項 (1) 2018年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業計画について  
(2) 2018年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会予算について  
(3) 2018年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会年間事業計画について

### (2) 理事会の開催

#### ①4月26日(水)

- 第1号議案 定期総会の開催について
- 協議事項
- (1) 事業報告の作成について
- (2) 出張・旅費規程、育児・介護休業規程、慶弔見舞金細則について
- (3) 役員立候補について
- (4) 「福祉・介護従事者のなんでも電話相談」事業の委託について
- (5) 委員の推薦について
- (6) 会計ソフトの導入について

#### ②5月24日(水)

- 第1号議案 2016年度事業報告について

第2号議案 2016年度決算について

監査報告

第3号議案 定期総会・研修会の開催について

第4号議案 出張・旅費規程、育児・介護休業規程について

第5号議案 入会者の承認について

協議事項

(1) 委員等の推薦について

(2) 成年後見制度利用促進基本計画に関する緊急調査について

(3) 専門誌「実践 成年後見」No.7 1 執筆依頼について

(4) ソーシャルワーカーデーinしが2017について

(5) ぱあとなあ会員の後見等事務に対する外部からの苦情の報告及び苦情申立人に対する回答について

(6) 今後の組織体制について

③6月10日(土)

第1号議案 会長の選定について

第2号議案 副会長の選定について

第3号議案 副会長の順序について

④6月28日(水)

第1号議案 2017年度第1次補正予算について

第2号議案 入会者の承認について

協議事項

(1) 委員等の推薦について

(2) 専門誌「実践 成年後見」No.7 1 執筆依頼について

(3) 基礎研修eラーニング講義導入にかかる意向アンケートについて

(4) 日本社会福祉士会主催研修会の参加について

(5) 職員夏季休暇について

(6) 理事の担当について

(7) 大口寄付金の使途について

(8) 苦情解決窓口の設置、規程の作成について

⑤7月26日(水)

第1号議案 ぱあとなあ滋賀運営規程について

第2号議案 ぱあとなあ滋賀名簿登録規程について

第3号議案 ぱあとなあ滋賀部会に関する規則について

第4号議案 入会者の承認について

協議事項

(1) 平成30年度に向けた滋賀県に対する予算等要望事項について

(2) 2017年度全国生涯研修委員会議について

(3) 都道府県社会福祉士会へ移管した研修にかかる実態調査について

(4) 基礎研修eラーニング講義導入にかかる意向アンケートについて

(5) 会員名簿の発行について

(6) 会長交代の挨拶状送付について

⑥ 8月23日（水）

第1号議案 第三者評価機関の認証について

第2号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 米原市地域包括支援センター運営協議会委員の推薦について
- (2) 近畿ブロック研究・研修大阪大会について
- (3) 「第3回認知症にかかる医療と介護の滋賀県大会」開催にかかる後援名義の使用申請について
- (4) 運営組織体制について

⑦ 9月27日（水）

第1号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 近畿ブロック研究・研修大阪大会について
- (2) 災害支援体制についてのアンケートについて
- (3) 生活困窮者自立支援等に関する取組状況の調査協力について
- (4) 2017年度自殺予防ソーシャルワーク研修について
- (5) 基礎研修Ⅰ事前課題への協力について
- (6) 県協働提案制度によるH30年度予算（案）について
- (7) 業務報告について

⑧ 10月25日（水）

協議事項

- (1) 権利擁護セミナー開催に係る後援依頼について
- (2) 日本介護支援専門員協会第17回近畿ブロック研究大会in滋賀の後援依頼について
- (3) 滋賀の縁創造実践センター活動期間後のあり方についての意向調査について
- (4) 平成29年度介護支援専門員実務研修講師依頼について
- (5) ぱあとなあ滋賀運営規程等および事務手数料納付手続きについて

⑨ 11月22日（水）

第1号議案 ぱあとなあ滋賀運営規程について

第2号議案 ぱあとなあ滋賀名簿登録規程について

第3号議案 ぱあとなあ滋賀部会に関する規則について

協議事項

- (1) 「ヒバクシャ国際署名を広げる滋賀県民の会」への賛同と参加について
- (2) 平成29年度滋賀県介護福祉士会制度改定セミナーの後援依頼について
- (3) ITC活用にかかる意向調査について
- (4) 業務報告について
- (5) 「空き家相談対応」に係るアンケートについて
- (6) ブログ等による情報提供について
- (7) 自殺予防ソーシャルワーク研修への参加について
- (8) 第30回（2022年度）全国大会について

⑩ 12月20日（水）

第1号議案 業務報告について

第2号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 2018年度事業計画・予算について
- (2) 2018年度基礎研修日程について
- (3) 臨時総会・通常総会の日程について
- (4) 平成30年度介護支援専門員更新研修講師依頼について

⑪ 1月24日（水）

協議事項

- (1) 臨時総会・定期総会について
- (2) 基礎研修について
- (3) 近畿ブロック研究・研修大阪大会について
- (4) 介護支援専門員近畿ブロック研究大会開会式について
- (5) 基礎研修関連事項意向調査について

⑫ 2月21日（水）

第1号議案 2018年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業計画案について

第2号議案 2018年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会予算案について

第3号議案 臨時総会の開催について

第4号議案 県民のための成年後見制度活用セミナーについて

協議事項

- (1) 来年度の行事予定について
- (2) 委員の推薦について
- (3) 社会福祉士養成支援委員会ワークブック使用中止および資料作成費の増額について

⑬ 3月28日（水）

協議事項

- (1) 定期総会の開催について
- (2) 後援名義使用依頼について
- (3) 会費未納会員への対応について
- (4) 来年度の基礎研修について
- (5) スーパービジョンスキルに関するアンケート配布協力について
- (6) 近畿ブロック会議について
- (7) 委員の推薦について
- (8) ソーシャルワーカーデイについて
- (9) 養成支援委員会講師謝金の増額について
- (10) 受験対策講座受講者へのアンケートについて